

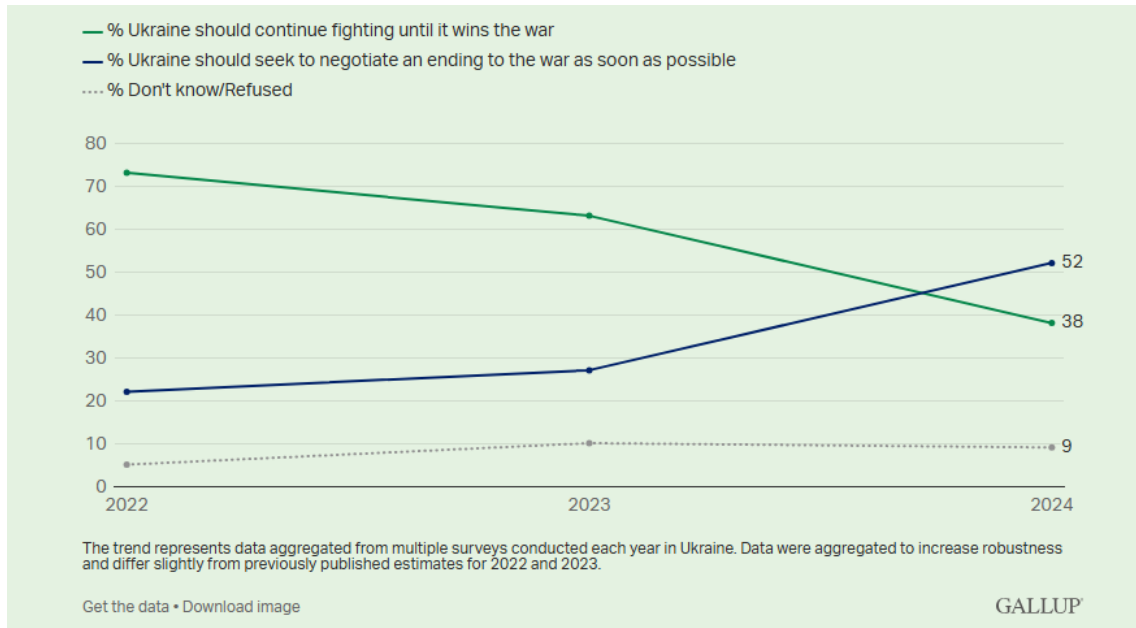
ウクライナ国民の半数以上が、交渉による戦争の早期終結を望む

ベネディクト・ヴィガース

GALLUP 2024年11月19日

<https://news.gallup.com/poll/653495/half-ukrainians-quick-negotiated-end-war.aspx>

ロンドン発--2年以上にわたる激しい対立の末、ウクライナ国民はロシアとの戦争に嫌気がさしている。ギャラップが2024年8月と10月に実施したウクライナに関する最新の調査では、ウクライナ人の平均52%が、自国ができるだけ早く戦争終結の交渉を行うことを望んでいる。ウクライナ人の10人に4人近く（38%）が、自国は勝利するまで戦い続けるべきだと考えている。



ウクライナ人の戦争に対する現在の態度は、2022年2月下旬の開戦後とは決定的に異なっている。ロシアが本格的な侵攻を開始した数カ月後の調査では、ウクライナ人は反抗的で、73%が勝利するまで戦うことを好んだ。

2023年には、勝利まで戦うことへの支持は後退したが、交渉による和平（27%）よりも戦い続けること（63%）を支持するウクライナ人が2倍以上となった。今年に入り、交渉による和平支持は52%に上昇し、初めて過半数に達した。

戦争への疲労が高まっているのは、戦争の当面の将来が疑問視されているときである。ウクライナがクルスク地方に侵攻したにもかかわらず、ロシアはここ数カ月で前線に軍事進出している。ヴォロディミル・ゼレンスキー大統領は、NATOに加盟し、西側の長距離ミサイルをロシア領土に使用することを含む、戦争を終わらせるための「勝利計画」を先月発表した。西側の同盟国からはさまざまな反応があった。ここ数日、退任するジョー・バイデン大統領は、米国の長距離ミサイルを使ってロシア国内を攻撃する許可をウクライナに与えている。

さらに、ドナルド・トランプ次期大統領がホワイトハウスに復帰する見通しとなったことで、継続的な軍事援助や資金援助が不確実なものとなった可能性もある。戦争が始まって以来、米国はウクライナに他のどの国よりも多くの軍事援助を行ってきた。

本稿は、ギャラップ社のウクライナにおける最新調査に基づくシリーズの第1回である。2023年と2024年には、ウクライナの携帯電話事業者がカバーできないため、ロシアの支配が定着している一部の占領地域が除外された。この排除は人口の約10%から12%に相当する。

戦闘継続への支持は国中で低下。

ロシアが 2022 年 2 月下旬にウクライナへの全面侵攻を開始して以来、紛争の最前線はほとんどウクライナの東部と南部にとどまっている。2022 年当時、紛争に最もさらされていたこれらの地域は、紛争を支持する人が過半数を占めたものの、紛争を継続したいと思う人は最も少なかった（それぞれ 63%と 61%）。

時間の経過とともに、ウクライナの全地域で、いかに前線に近い地域であっても、戦争継続への支持は薄れている。2024 年には、どこの地域でも支持率が 50%を切った。

キエフ（39%ポイント減）や西部（40%ポイント減）など、前線から遠く離れた地域で、戦闘への支持率が最も低下している。ウクライナの東部に住む人々の間では、戦争が続くこと（27%）よりも、できるだけ早く終結すること（63%）を望む人が 2 倍以上多くなっている。

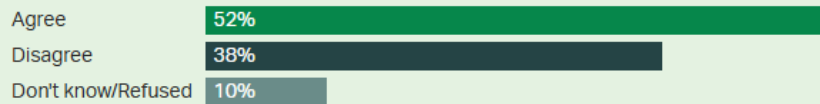
ウクライナ人は戦争終結のための領土譲歩に前向き

戦争早期終結の交渉に賛成するウクライナ人のかなりの割合が、ウクライナは和平と引き換えに領土の一部を譲り渡すことに前向きであるべきだと考えている。このグループの半数以上（52%）は、戦争終結のための和平交渉の一環として、ウクライナはある程度の領土譲歩を受け入れるべきだと考えている。ギャラップ社は、人々がどの程度の領土譲歩を受け入れるかについて、詳細な質問をしていない。

自国が戦争に勝つまで戦うことを支持するウクライナ人の間でさえ、「勝利」をどう考えるかが変化している証拠がある。2022 年と 2023 年には、戦い続けることを支持するウクライナ人の大多数（それぞれ 92%と 93%）が、勝利とはクリミアを含む 2014 年以降に失った領土をすべて取り戻すことだと考えていた。2024 年ではまだ明確な多数派であったが、この数字は 81%に低下している。

Ukrainians Who Want Negotiated Peace Are Open to Territorial Concessions

Do you agree or disagree that Ukraine should be open to making some territorial concessions as a part of a peace deal to end the war?



This question was asked only of people who think "Ukraine should seek to negotiate an ending to the war as soon as possible."
October 2024

[Get the data](#) • [Download image](#)

GALLUP

和平交渉では米国より EU、英国を支持

ギャラップ社は、交渉による迅速な戦争終結を支持するウクライナ人に、戦争終結を支援する外国勢力に対する見解を尋ねた。EU（70%）とイギリス（63%）が和平交渉で重要な役割を果たすことを望む人が多く、トランプ大統領やカマラ・ハリス大統領のもとでは、アメリカよりもその傾向が強い。

アメリカ大統領選挙前に行われた調査では、ハリス大統領とトランプ大統領の可能性の間で、見解に意味のある違いはほとんどなかった。和平を支持するウクライナ人のおよそ半数は、潜在的な和平交渉においてアメリカが重要な役割を果たすことを望んでいた。トランプ大統領は繰り返し戦争の終結を求めており、大統領としてその早期実現に取り組むと述べている。

ボトムライン

戦場では2年以上にわたってほとんど動きがなかったため、ウクライナでの戦争の先行きは極めて不透明だ。紛争の最前線では、ロシアがここ数カ月で着実に前進している。そして、海外の権力中枢では、政治的現実の変化によって、ウクライナの戦闘維持能力がまもなく変化する可能性がある。ウクライナ全土で、人々は戦争に嫌気がさし、たとえ領土を譲り渡すことになっても、早期の和平合意を求めるようになっている。

9月、ゼレンスキーは戦争の終結は多くの人々が考えているよりも近いと述べた。彼の予言が正しいことを願うウクライナ人はかなり多いだろう。

（以下略）

